【学校通信】

平成29年11月2日

第24号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

大西　規之

７０周年記念式典を挙行しました(2)

第２３号では校長の挨拶をご紹介しましたが、本号では本校卒業生有村架純様からのメッセージの主な内容について抜粋して紹介します。



・中学時代の思い出として、先生を嫌だと思ったこともあったが、今となっては、怒ってくれることは幸せなことだと感じていること。
・大人の言うことを、素直に、まっすぐに、耳を傾けて、心を傾けて、受け止めてほしいということ。
・仕事では、挫けそうになる時も、苦しい時も、辛い時も、たくさんあるけれど、その中でも一瞬の喜びや幸せがあると、「頑張ろう」と前を向くことができること。
・夢が叶う、叶わないではなく、そのために自分が何をしていたか、どれだけやれたか、どれだけの思いをかけられたかが大切で、それは必ず自分の強さに変わること。
・目標を持つことが夢へ進む一歩であり、初めてのことは怖いけど、恐れないで、挑戦してほしいこと。
・感謝の気持ちを忘れず、自分にとって大切な人へ、愛情をたくさん伝えてほしいこと。
・行いは、必ず自分に返ってくる。良いことも悪いことも、ちゃんと返ってくるので、ありがとうの気持ちを持って、過ごしてほしいこと。
・「この人と出会えて本当に良かった」と思える人とたくさん出会ってほしいこと。
・さようならをするのが名残惜しい、愛おしい、そんな気持ちがうまれる出会い方をしてほしいこと。

有村架純様の卒業式で印象に残っている当時の校長先生言葉（式辞より抜粋）

> ありがとうの数だけ、人は賢くなる。
> ごめんなさいの数だけ、人は優しくなる。
> さようならの数だけ、人は愛情を知る。



同窓会からの記念品



ＰＴＡからの記念品